

～海に親しみ、船や船員について学ぼう～ 「紋別ガリンコ乗船体験・海事講座」を開催

令和6年9月13日（金）旭川運輸支局は関係団体と協力し、紋別市立潮見小学校6年生46人を対象に、ガリンコ号の乗船体験と海事講座を開催しました。

我が国は四面を海に囲まれており、[船]が私たちの生活を支えています。その船を動かす船員の高齢化が進み、将来的な船員不足が懸念されています。そのため、小学生の段階から、海に親しみ、船や船員について学んでいただこうと、紋別市が世界に誇る流氷観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU（イメル）」を活用して講座を実施しました。

そして今回は、東京の一般社団法人日本船主協会（※）から講師をお招きし、普段より、より分かりやすく海運のことを学ぶ機会となりました。



【日本船主協会による講座】

※一般社団法人日本船主協会

日本の100トン以上の船舶の所有者、運航業者等135社を会員とする事業者団体です。日頃から海事産業の重要性を学校教育で取り上げてもらうため、船舶・海事施設等の見学会、出前授業への協力や各種資料の提供に取り組んでいます。子ども向けのHPもありますので是非ご覧ください。

日本船主協会HP：<https://www.jsanet.or.jp/jsatop.html>



学校での講座の後、港まで移動しいよいよガリンコ号Ⅲ IMERUへの体験乗船です！！

本船は、前方に砕氷ローターを搭載する流氷観光船で、その船型は世界的に見ても大変珍しく、流氷時期には国内外から連日大勢の観光客で賑わいます。

この日の天候は曇り、最高気温24度と爽やかな風が吹く絶好のクルーズ日和となり、子どもたちは紋別港を周遊する45分程の船旅を楽しみました。



港に戻った後は、船長からロープワークを学びました。船乗りとしての基本、「いろはの“い”」であるロープワークは、船員という職業を理解するには欠かせません。とは言え、やはりちょっと難しかったらしく、大勢の児童に覚えて貰うには少し工夫が必要なようです。

子どもたちには存分に船の仕事を学んでもらうことができ、実りある事業となりました。

この日「ガリンコ号Ⅲ IMERU（イメル）」に乗船した小学生の中から、将来船員として活躍する人材が誕生することを期待しております。

参加児童の感想

ガリンコ号
の一番前で
見れたこと
がうれしか
った

いろんな船
に分けて運
ぶことが分
りました

初めて知ることが少
しあって、「こんな
のもあるんだ！」と
びっくりしました。
他にもそれぞれの船
で役割があってすご
いなと思いました

ありがとうございました。
もっと海の事につい
て知りたくなりました。
仕事がんばって
ください

ふねに乗った
ら沢山やれて
楽しかったで
す！！さいご
に糸をむすぶ
ときが一番あ
たまをつかい
ました

船にそれぞ
れ役割があ
る事が印象
に残った

ガリンコ号
にはたくさ
んのみりよ
くがあるっ
てことが分
った

いままであま
り海の事を
知らなくて、初
めて分ったこ
ととかもあっ
たし分かりや
すかったです



潮見小学校先生からのコメント

本日はガリンコ号乗船体験・海事講座に参加させていただき、ありがとうございました。

海や船について知る事の出来る良い機会になりました。ガリンコ号に乗ることで船員さんの仕事に興味を持つことができたと思います。最後のロープワークは、結び方の動画か資料があると、より分かりやすくなると思いました。また、どんな時に使う結び方なのか知りたかったです。

今回は子ども達のために様々な準備等、本当にありがとうございました。

